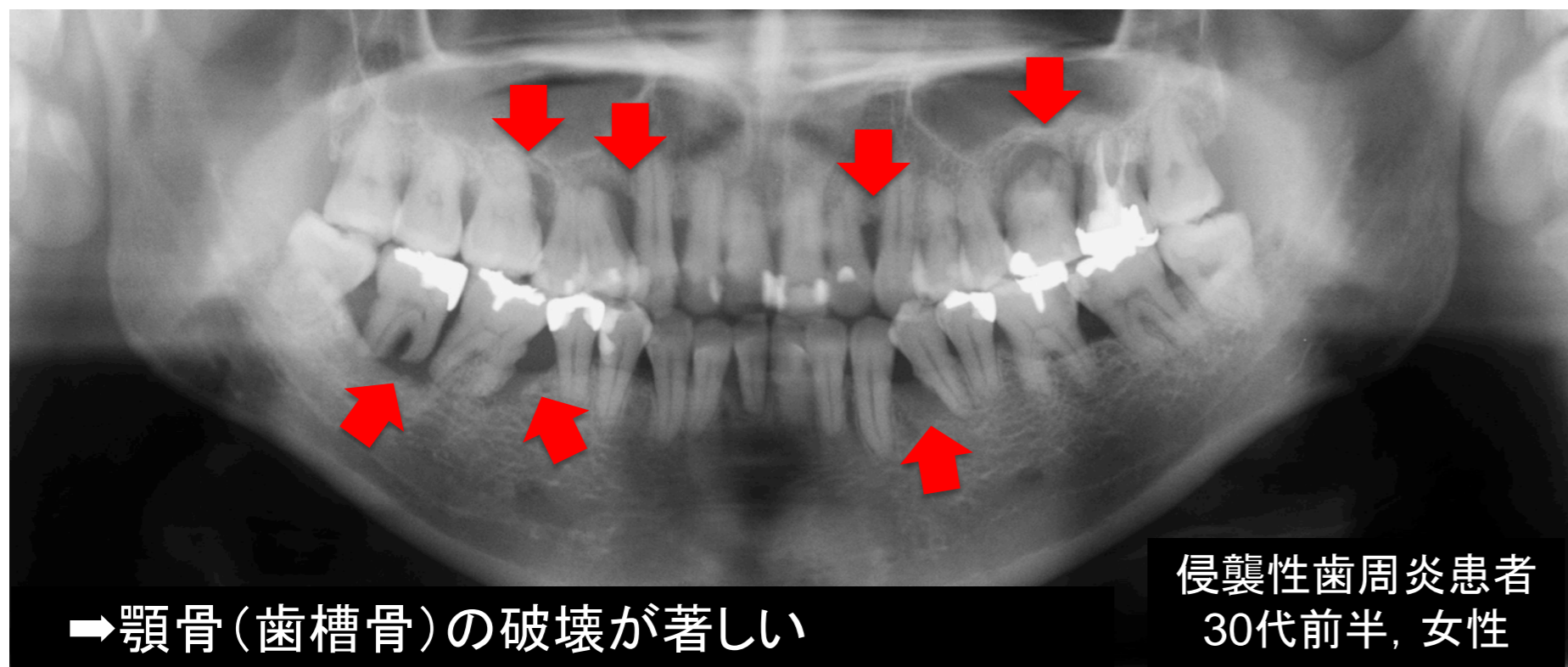


# 侵襲性歯周炎センター

侵襲性歯周炎は、若年期（15～34歳頃）に急激な歯周組織の破壊が起こる疾患です（平成23年度 厚労省補助事業-難治性疾患情報班・奨励研究分野）

## 侵襲性歯周炎の特徴

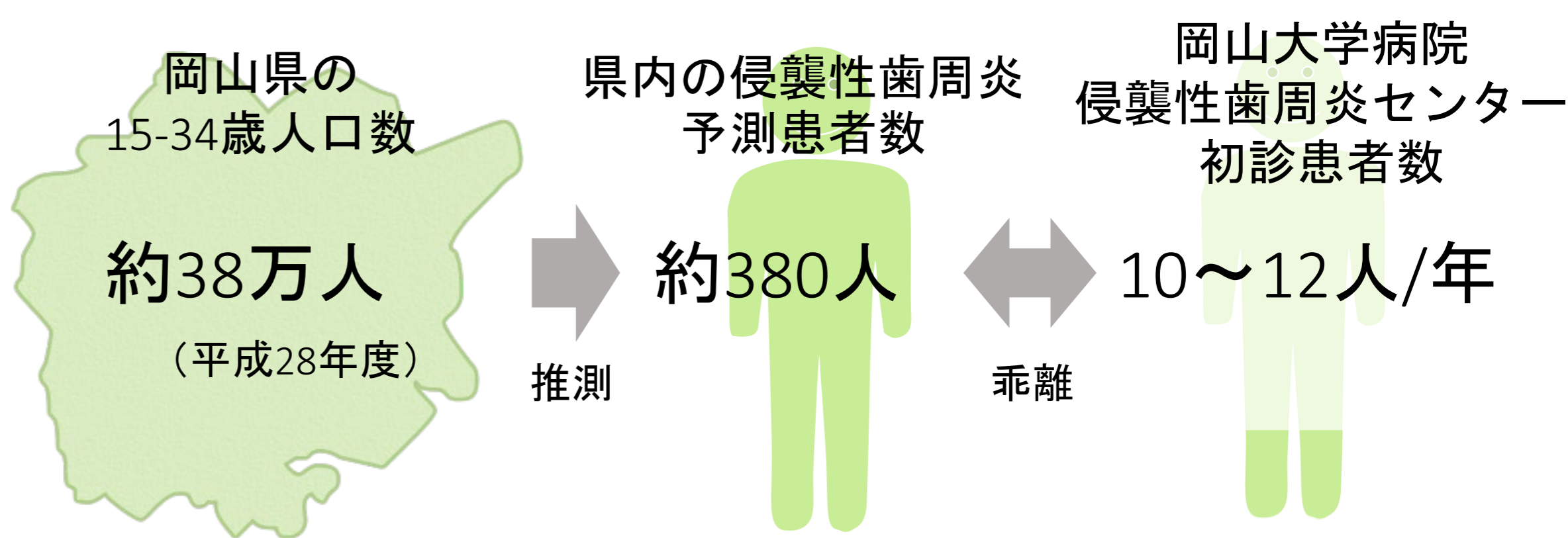
### ●若年期の重度の歯槽骨破壊



### ●その他の特徴

- ・ 全身的には健康
- ・ 家族内集積
- ・ 歯垢や歯石の量に一致しない歯周組織の破壊
- ・ 発症率は0.05%～0.1%

局所のみなので、  
抜歯して補綴処置と  
なることが多い



早期発見し、早期に専門的な治療を受けることが重要！

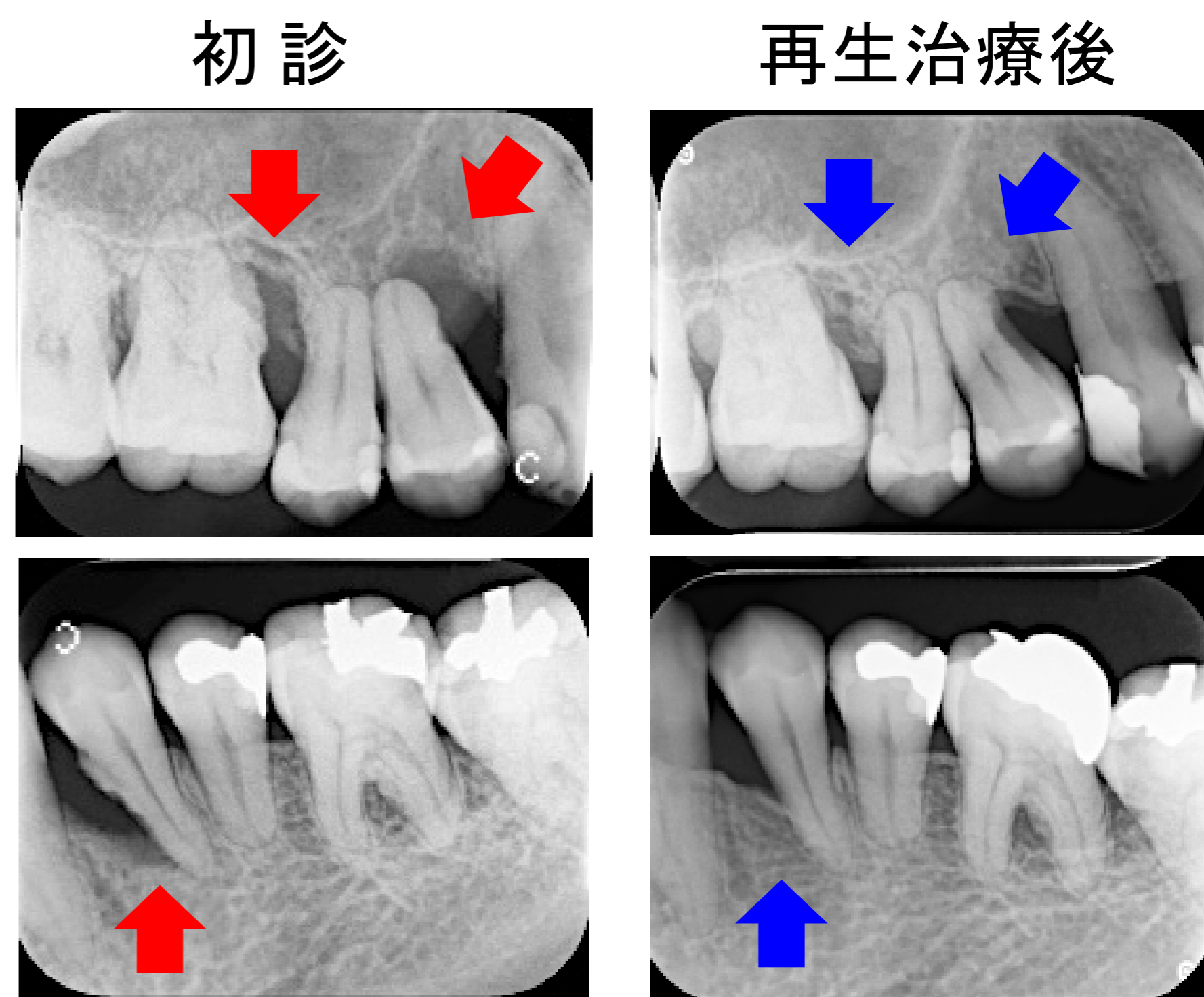
侵襲性歯周炎患者に対して、適切な診断・治療を受けられる環境が必要！

## センターの理念と特徴

- ・ 歯周病専門医を中心とした医科歯科連携によって診断と治療、治療後の維持管理を包括的に行う
- ・ 侵襲性歯周炎に関する総合的な教育・研究の向上を図る
- ・ 地域医療の充実と発展に寄与する

	診療科・部門等名	診療内容
協力診療科・部門等	歯科放射線科部門, 精神科神経科, 小児神経科 矯正歯科, 補綴歯科部門 口腔インプラント部門 予防歯科部門, 看護部 歯科衛生士室, バイオバンク	診断, 心理サポート リハビリ, 再発予防 患者支援, 研究支援
主要診療科	小児歯科, 小児科, 総合内科	早期発見, 生活指導 診断(全身因子)
主要診療部門 (中心)	歯周科部門	診断・治療

## 侵襲性歯周炎の治療



適切な治療を受けると良好な治療反応が得られます。気になることがあれば気軽にご相談下さい

若くして歯を失わないように！